

取付と接続(FM VICS)

- 本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本書で使用しているイラストは、実際の製品とは外観が異なる場合があります。

NV-U77VT	nav-i	nav-u
		

はじめに

- 本書では、NV-U77VTに付属されているFM VICSユニット、FM VICS用アンテナの取り付けかたや注意事項などについて記載しています。

- 付属されているFM VICSユニット、FM VICS用アンテナは、NV-U77VT専用です。他のナビゲーションシステムには接続できません。


- 付属されているFM VICSユニット、FM VICS用アンテナを"nav-u"本体(NV-U77VT)と組み合わせることで、FM多重放送で提供されている交通情報を受信し、表示することができます。

- 本書をお読みになる前に、「安全のために」、「取付と接続」、「取扱説明書」をお読みください。

ちょっと一言









- 高速道路上に設置された電波ビーコンの情報を受信したり、主要な一般道路に設置された光ビーコンの情報を送受信するには、別売のVICSビーコンユニットNVA-VB8/VB7/VB6が必要です。
- 渋滞回避オートリルート機能をご使用するには、別売のVICSビーコンユニットが必要です。

"nav-u" および **nav-u** は、ソニー株式会社の登録商標です。

は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

©2011 Sony Corporation Printed in Thailand

同梱品を確認する

FM VICSユニット	粘着シート
	
FM VICS用アンテナ	粘着シート用保護シート
	
VICS接続ケーブル(長)	取付シート
	
VICS接続ケーブル(短)	
	
コードクランパー	
	



重要なご注意

本機には小さな部品などが使用されています。それらを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。

取り付けの流れ

- 別紙の「取付と接続」に従い、“nav-u”をダッシュボードに取り付ける。
- FM VICS用アンテナを取り付ける。
- クレードルまたはダッシュボードにFM VICSユニットを取り付ける。
- ケーブルを接続する。

各部の名称

アンテナ端子	アンテナ部(受信部)
	

FM VICS用アンテナを取り付ける

- 取付位置と配線する場所を決める。**

FM VICS用アンテナのアンテナ部(受信部)はフロントガラスの車内側に取り付けます。アンテナケーブルは以下の場合を除き、フロントビラーに配線します。

 - フロントビラーにエアバッグが搭載されている
 - フロントビラーの内装がコードクランパーを貼り付けにくい材質

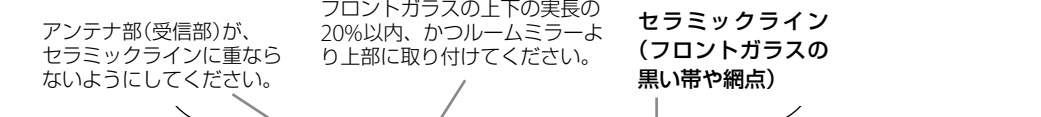
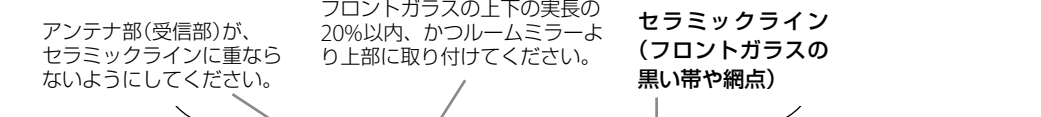
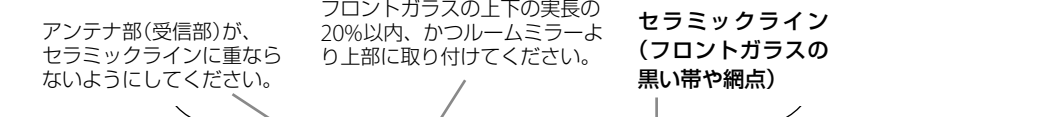



取り付け位置について詳しくは、下記の「取付完成図」でご確認ください。

重要なご注意
フロントガラスにアンテナを取り付けるため、国土交通省が定める[道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号]【審査事務規定 第4章窓ガラス貼付物等】に適合させることが必要です。
<p>下記の指定範囲内(イラストの斜線内)に正しく取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">フロントガラスの上下の実長の20%以内、かつルーフミラーより上部 セラミックライン(フロントガラスの黒い帯や網点)の端から25mm以内 エアバッグの動作を妨げない場所

ご注意
<ul style="list-style-type: none">エアバッグの動作を妨げないよう、取り付けや配線を行ってください。 検査標準や定期点検ステッカーと重ならないようにしてください。 フロントガラスにFM/AMアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるため、アンテナが重ならないようにしてください。 セラミックラインの上に取り付けしないでください。受信感度が低下することがあります。 電源コードや他の機器のアンテナケーブルなど、他のコードからできるだけ離して配線してください。ノイズの原因となることがあります。 電波を通さないガラス(熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透明ガラス)を使用した車両の場合、受信感度が低下することがあります。 車種によっては取り付けられない場合があります。

取付完成図

- アンテナ部(受信部)が、下図の斜線部内にくるように取り付けてください。
- ケーブルの引き直しなどを十分に検討してから作業を開始してください。

アンテナ部(受信部)が、セラミックラインに重ならないようにしてください。	フロントガラスの上下の実長の20%以内、かつルーフミラーより上部に取り付けてください。	セラミックライン(フロントガラスの黒い帯や網点)
		
フロントビラー	"nav-u"本体	フロントビラー
アンテナケーブル	電源コード	
		
ガラスに配線する場合はセラミックラインから25mm以内に配線してください。		

- FM VICS用アンテナを取り付ける。

- 取り付け面の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭きとる。
- 付属のコードクランパーでFM VICS用アンテナを固定しながら取り付けます。アンテナ部(受信部)、アンテナケーブルの順で取り付けてください。ゼロハンテープなどで仮止めしながら取り付けると作業がしやすくなります。
- アンテナ部(受信部)がたるんでいないことを確認する。たるんでいると受信感度が低下することがあります。

コードクランパーについて

- 確実に固定するために、平面に貼り付けてください。
- 貼り直しができませんので、慎重に貼り付けてください。

ご注意

- エアバッグの動作を妨げない場所に取り付けてください。
- 取り付けの際に、アンテナを急な角度に曲げないでください。故障の原因となることがあります。

FM VICSユニットを取り付ける

重要なご注意

本機は、道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。特に前方視界、運転、エアバッグなどの妨げにならないようご注意ください。

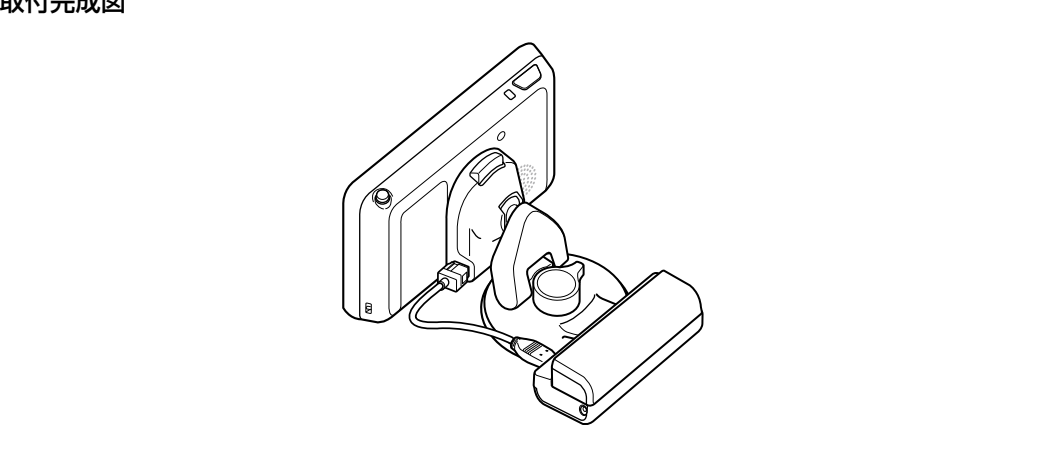
FM VICSユニットは、使用後、直射日光の当たらない場所に保管してください。ダッシュボードに取り付けた状態で放置すると、故障の原因となることがあります。

ご注意

本機は、ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機など強い電波を送信したり、受信したりする機器から離れた場所に取り付けてください。これらの機器の近くで本機を使うと、以下のようなことが起きる場合があります。

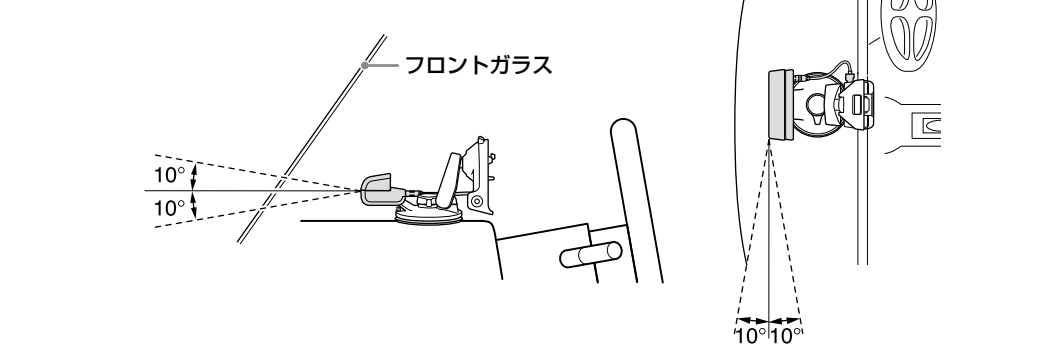
- 本機が正常に動作しない。
- 画像が乱れる。
- 自車位置を正しく表示できない。
- ETC車載機器や無線機、携帯電話、レーダー探知機などが正常に動作しない。

クレードルに取り付ける場合

取付完成図


- クレードルの取り付け位置を決める。**

フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。

フロントガラス

10°10°
10°10°

ちょっと一言
VICSビーコンユニット(別売)と組み合わせてお使いになる場合は、イラストの角度の範囲で取り付けてください。

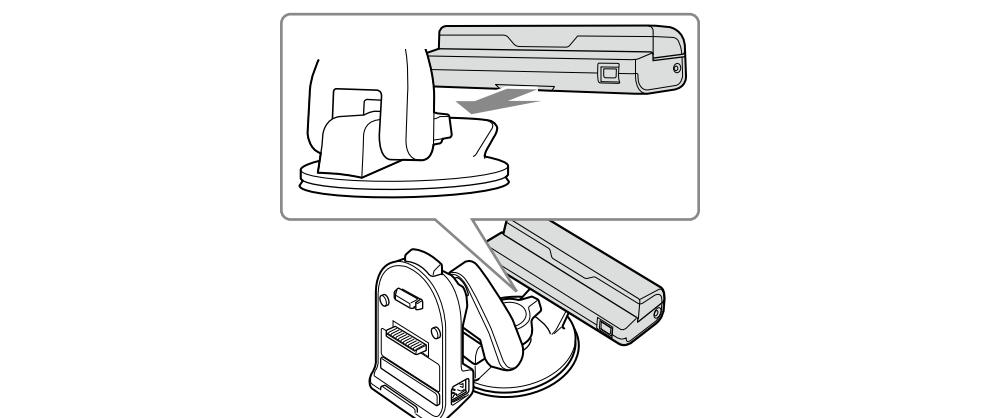
ご注意

エアバッグの動作の妨げになる場所には取り付けないでください。

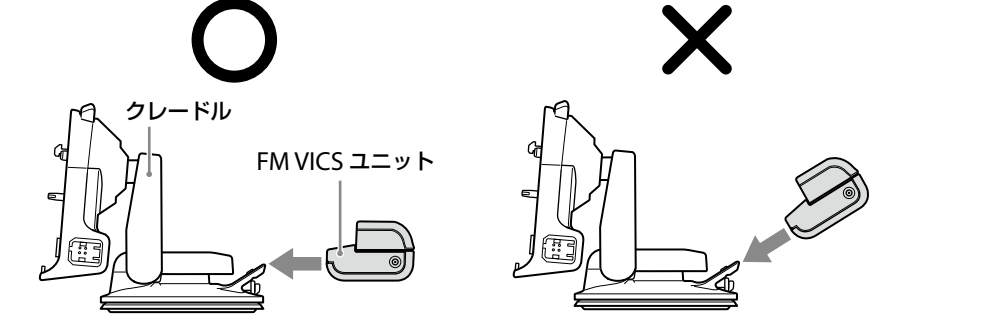
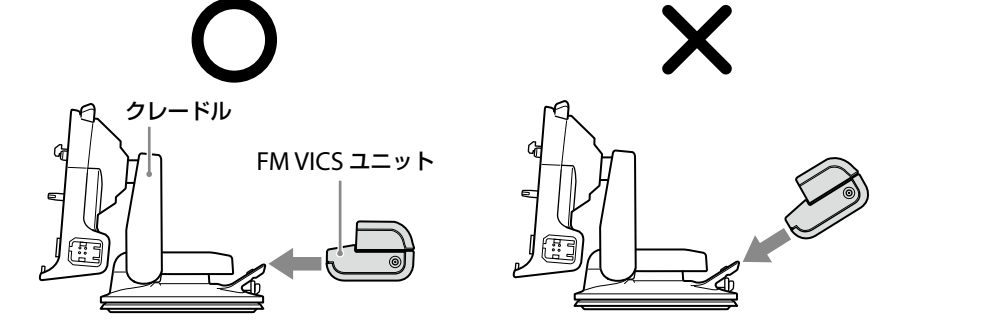
- クレードルをダッシュボードに取り付ける。

取り付けかたについて詳しくは、「取付と接続」をご覧ください。

- FM VICSユニットをクレードルに取り付ける。

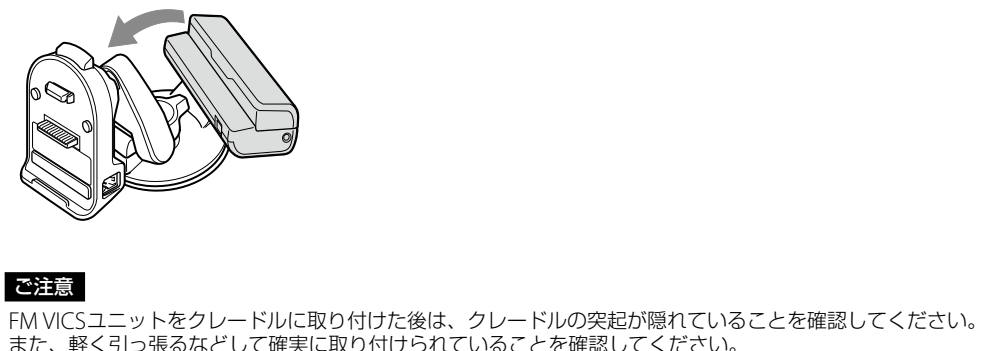


FM VICSユニットは、水平方向にしっかり押し込んでください。

○	×
	
クレードル	FM VICSユニット
	斜めに取り付けようとすると、確実に取り付けられません。

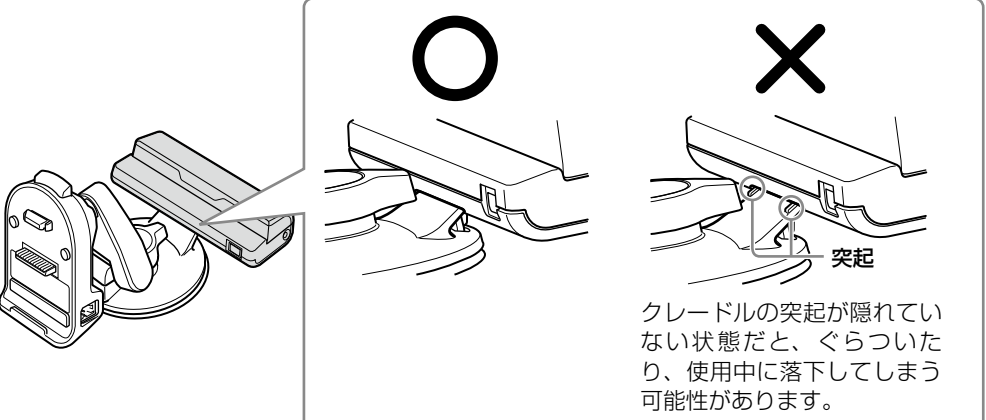
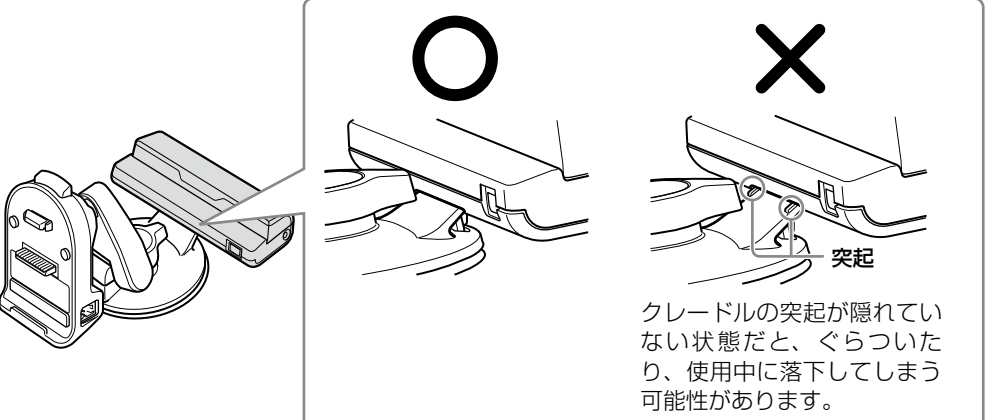
ちょっと一言

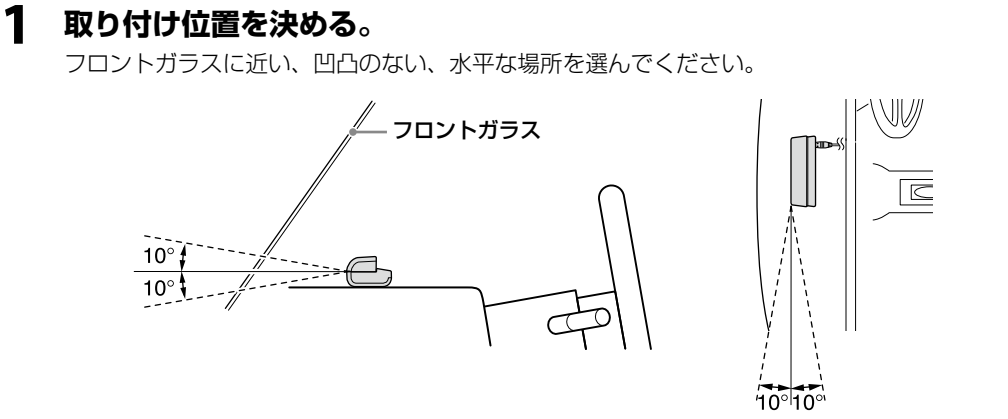
取り付けにくい場合は水平方向に回しながら取り付けます。


--

ご注意

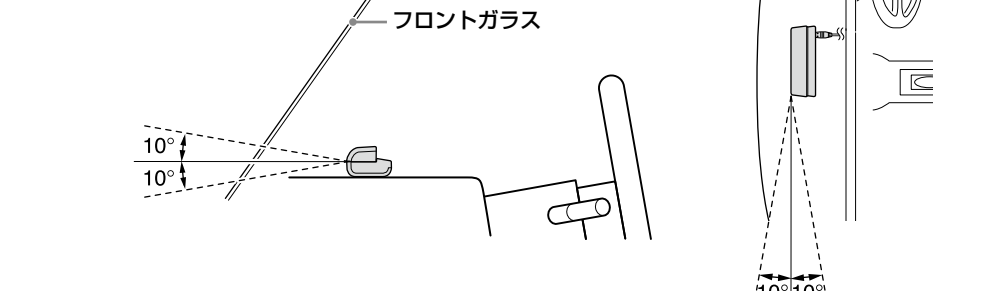
FM VICSユニットをクレードルに取り付けた後は、クレードルの突起が隠れていることを確認してください。また、軽く引っ張るなどして確実に取り付けられていることを確認してください。

○	×
	
	突起
	クレードルの突起が隠れていない状態だと、ぐらついたり、使用中に落下してしまう可能性があります。

ダッシュボードに取り付ける場合
取付完成図


- 取り付け位置を決める。**

フロントガラスに近い、凹凸のない、水平な場所を選んでください。

フロントガラス

10°10°
10°10°

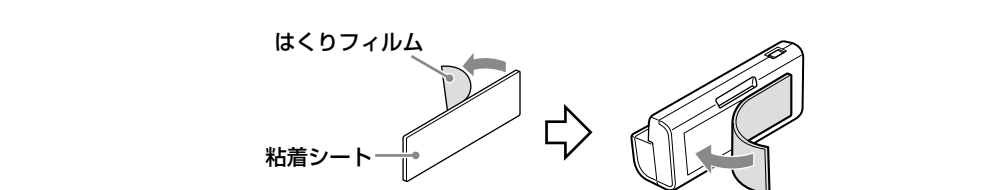
ちょっと一言
VICSビーコンユニット(別売)と組み合わせてお使いになる場合は、イラストの角度の範囲で取り付けてください。

ご注意

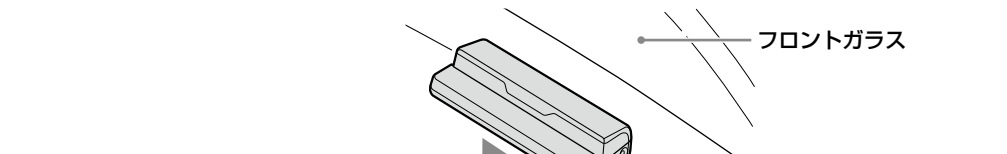
エアバッグの動作の妨げになる場所には取り付けないでください。

- 粘着シートをFM VICSユニット底面に貼り付ける。

粘着シートのはくりフィルムを片側だけはがして貼り付けます。

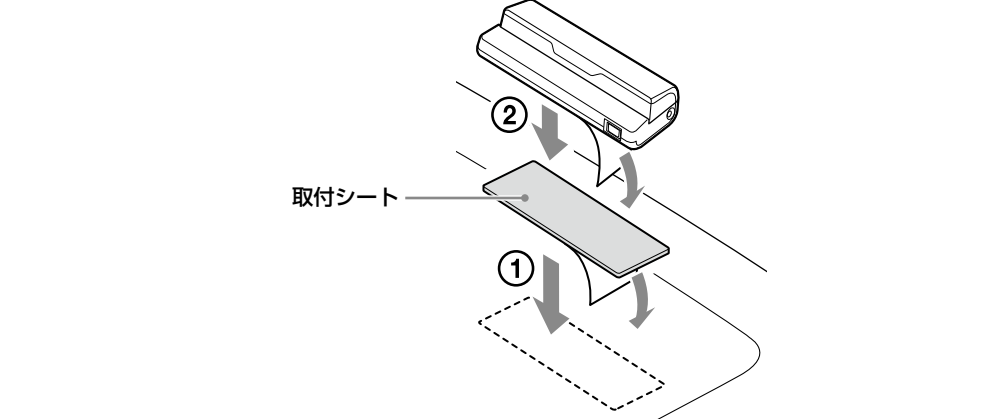
はくりフィルム

粘着シート

- FM VICSユニットをダッシュボードに固定する。

フロントガラス

ダッシュボード
はくりフィルム

- 取り付け位置をきれいにしてからFM VICSユニット底面の粘着シートをダッシュボードにしっかり固定してください。
- 正しい向きに取り付けられていることを確認してください。正しい向きで取り付けないと、送受信できない場合があります。

取付シートについて
直射日光によりダッシュボードが非常に高温になると、粘着シートの粘着力が弱くなり、はがれる場合があります。その場合は、付属の取付シートをお使いください。

取付シート

②
①

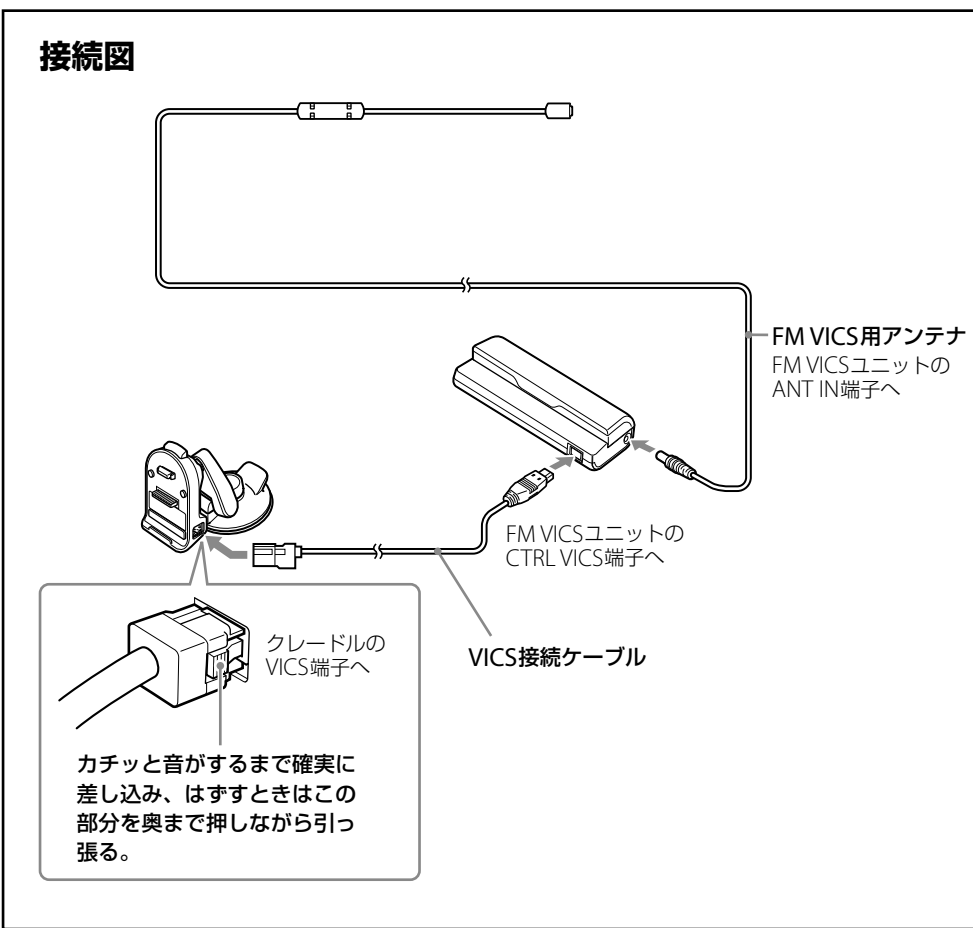
取付シート使用上のご注意

- 貼り付け位置は仮置きなどをして慎重に選んでください。取付シートは接着力が強いため、ダッシュボードに一度貼り付けると簡単にはがすことができません。無理にはがそうとすると、ダッシュボードが変形したり、破損するおそれがあります。
- 一度はがした取付シートは、接着力が弱くなっているので貼り直しできません。

ケーブルを接続する

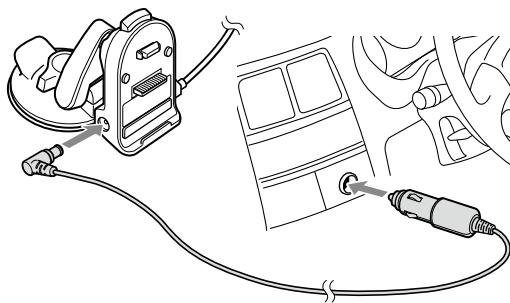
1 ケーブルを接続する。

「接続図」に従ってケーブルを接続してください。
各ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。



2 シガー電源コードを接続する。

正しく接続されると、エンジンをかけたときにシガー電源コードのランプが緑色に点灯します。



重要ご注意

"nav-u"本体およびクレードルに使用するシガー電源コードやACアダプターは、必ず付属品をご使用ください。指定以外のものを使用すると、"nav-u"本体およびクレードルの対応電圧より高い電圧が加えられることにより、発煙・発火の原因となり思わぬ事故につながる場合があります。

"nav-u"本体およびクレードルの端子に車のバッテリー電源を直接接続しないでください。故障の原因となります。

ご注意

- シガー電源コードを接続していない場合、FM VICSユニットは動作しません。FM VICSユニットを使用する場合は、必ずシガー電源コードを接続してください。
- シガーライターソケットの形状によっては、シガー電源コードが正しく接続できないことがあります。

取り付けと接続が終わったら

取り付けや接続に誤りがないか、各ケーブルは確実に接続されているかを、「FM VICSユニットを取り付ける」の「取付完成図」と「接続図」を参考に確認してください。

FM VICSユニットをはずす

ご注意

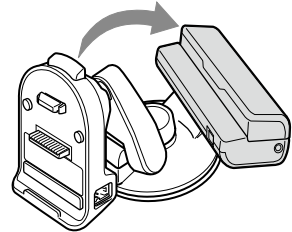
ケーブル類をはずすときは、コネクター部分を持ってはずしてください。
ケーブルを引っ張ると、コネクター部分からケーブルが抜けることがあります。

クレードルからはずす場合

1 VICS接続ケーブルをはずす。

2 FM VICSユニットをはずす。

水平方向に回しながらはずします。



ご注意

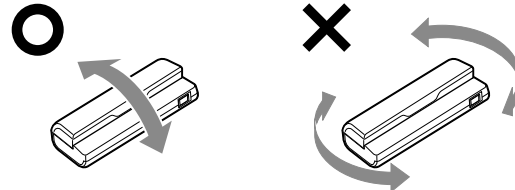
FM VICSユニットがクレードルについていた状態で、クレードルをダッシュボードからはずさないでください。

ダッシュボードからはずす場合

1 VICS接続ケーブルをはずす。

2 FM VICSユニットをダッシュボードからはずす。

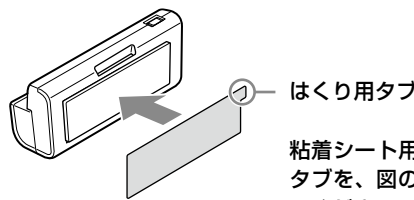
前または後にゆっくり傾けてはがします。



ご注意

水平方向に回してはがさないでください。粘着シートの粘着面を傷めて粘着力が弱くなる場合があります。

FM VICSユニットに粘着シート用保護シートを取り付ける。



粘着シート用保護シートは正しい向きに取り付けてください。
間違えると、はがしにくくなったり、粘着面を傷めて粘着力が弱くなる場合があります。

ご注意

- 粘着面が汚れた場合は、柔らかくて毛羽立たない布を湿らせ、なでるようにして、汚れを取り除いてください。
- 取り付ける前に、粘着面が乾いていることを確認してください。

別売のVICSビーコンユニットと組み合わせて使う場合(NVA-VB8/VB7/VB6)

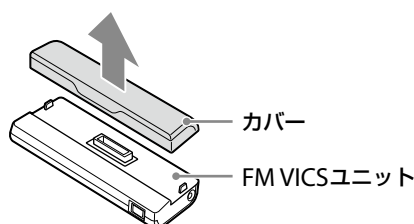
FM VICSユニットに別売のVICSビーコンユニットを取り付けてから、クレードルまたはダッシュボードに取り付けてお使いください。

ご注意

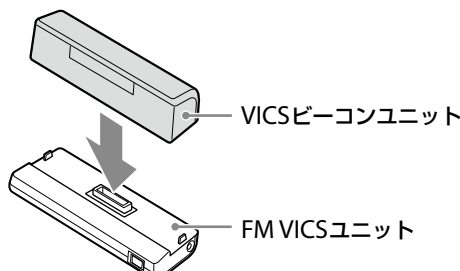
シガー電源コードを接続していない場合、VICSビーコンユニットは動作しません。VICSビーコンユニットを使用する場合は、必ずシガー電源コードを接続してください。

FM VICSユニットに別売のVICSビーコンユニットを取り付ける

1 FM VICSユニットのカバーを上引っ張ってはずす。



2 VICSビーコンユニットをFM VICSユニットに取り付ける。

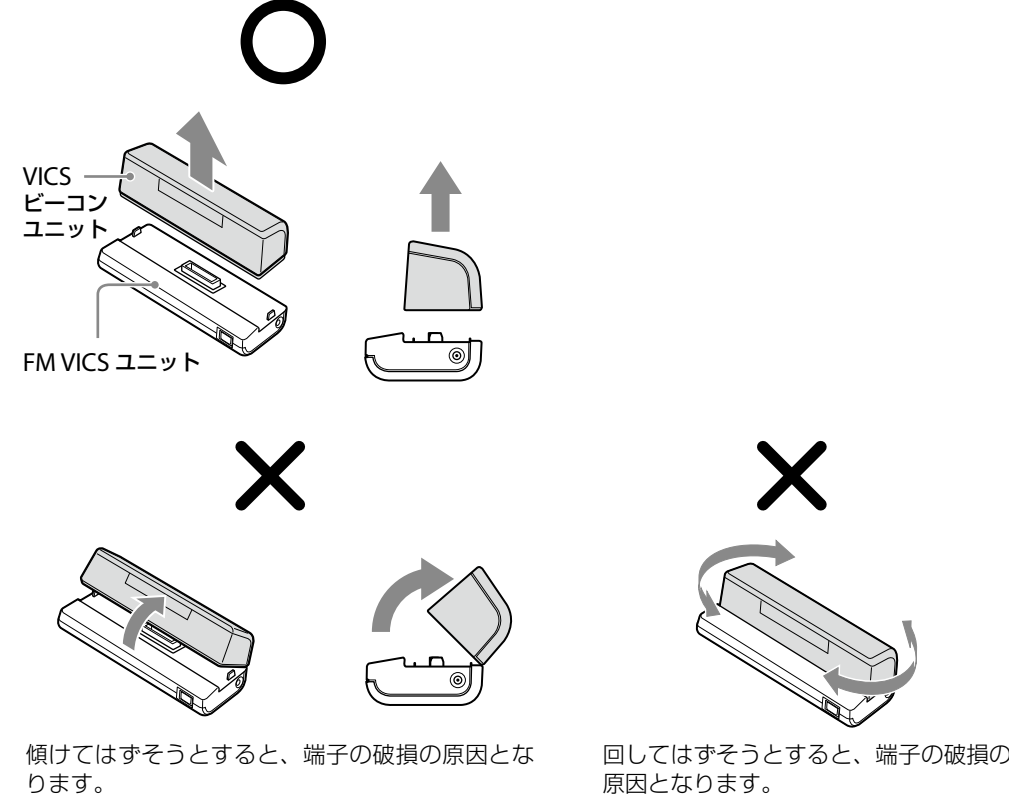


ご注意

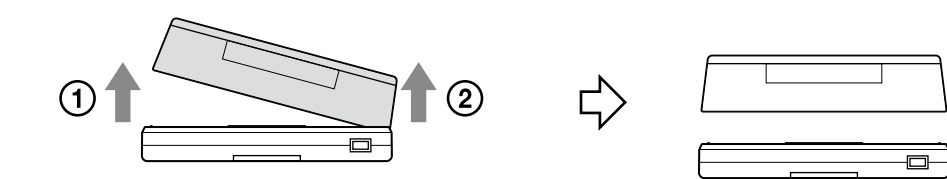
取り付けた後は、軽く引っ張るなどして確実に取り付けられていることを確認してください。

別売のVICSビーコンユニットをFM VICSユニットからはずす

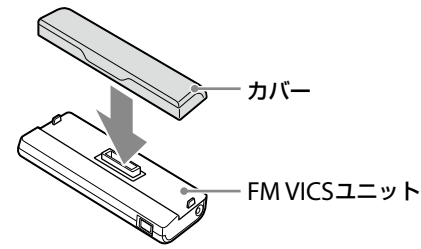
1 VICSビーコンユニットを垂直方向に引っ張ってはずす。



ちょっと一言
はずしにくい場合は左右片方ずつ引っ張ります。

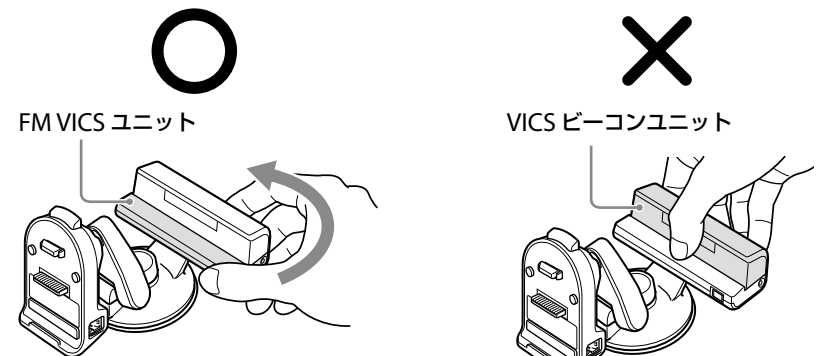


2 FM VICSユニットにカバーを付ける。



別売のVICSビーコンユニットとFM VICSユニットを組み合わせた状態でクレードルからはずす

FM VICSユニットを持ち、水平方向に回しながらはずす。

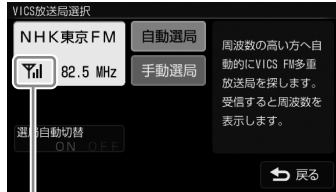


VICSビーコンユニットだけを持ってはずそうすると、端子の破損の原因となります。

困ったときは

FM-VICS情報を受信しづらい

- 下記の手順で「機器情報」を表示すると、VICSユニットが正しく接続されているかどうかを確認できます。
 - シガー電源が接続され、「nav-u」がクレードルに取り付けられていることを確認する。
 - 車のエンジンをかける。シガー電源コードのランプが緑色に点灯します。点灯しない場合はシガー電源コードを接続しなおしてください。
 - メニューボタン→[設定]タブ→[設定]→[システム設定]→[機器情報]で接続状態を確認する。正しく接続されている場合は、「VICSユニット:接続(FM)」と表示されます。「未接続」と表示されている場合は、正しく接続されていません。
 - 受信状況はVICS放送局選択画面でご確認いただけます。VICS放送局選択画面は、メニューボタン→[設定]タブ→[交通情報]→[VICS放送局選択]で表示できます。
 - 正しい位置に正しく取り付けられているかを確認してください。車種によっては、電波を通さないガラス(熱線反射ガラス、断熱ガラス、電波不透過ガラスなど)を使用している場合、受信感度が低下する場合があります。
- 「nav-u」本体の電源が入らない。
- 電源コードが確実に接続されていない。シガープラグや各コードが確実に接続されていることを確認してください。
 - シガー電源コードのヒューズが切れている。付属の「取扱説明書」をご確認の上、シガー電源コードのヒューズを交換してください。



電波の強さのレベルはアンテナのマークで表示します。

主な仕様

FM VICSユニット 電源電圧	DC12V (NVA-U77VTに 付属のクレードル より供給) 12V:0.2A(最大)	FM VICS用アンテナ 周波数範囲	76MHz～90MHz
消費電流	5℃～45℃	出カインピーダンス	50Ω
使用温度範囲	約97×15×34mm (幅×高さ×奥行き)	アンテナケーブル	約2.5m
外形寸法	約28g	重量	約30g
質量		ケーブル長	VICS接続ケーブル(長) 約500mm VICS接続ケーブル(短) 約85mm
			本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

お手入れのしかた

FM VICSユニットの汚れを清掃するときは、やわらかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めてから柔らかい布に含ませ、固くしぼってから拭いてください。

ご注意

ベンジン・シンナー、アルコール類、ワックス、みがき粉、粉石鹸、石油、熱湯は使用しないでください。また、接着剤、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。変色、変形するおそれがあります。

困ったときは

"nav-u"関連のサポートページ(下記URL)でお調べください。
最新サポート情報や「よくあるお問い合わせ(Q&A)」などを掲載しています。
<http://www.sony.jp/support/nav-u/>

お問い合わせの前に
機種名をご確認ください。機種名は、「nav-u」本体背面の機銘板に記載されています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2531

FAX (共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「307」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1